

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/13 (水)	1	22 横山 強	1、公有財産処分等について	(1) 今後、公有財産の処分に対する譲渡のあり方を伺う。 (2) 公有財産処分に対し、鑑定評価の必要性を伺う。 (3) 公有財産処分等に関する指針、ガイドラインの策定の時期について伺う。 (4) プロポーザルで、鑑定評価を無視した付加価値の低い額で民間と公有財産譲渡の仮契約をしているが、仮契約に対する、行政の今後の対応を伺う。 (5) 公有財産処分に関するプロポーザルは、市民の財産に不利益にならないかを伺う。 (6) 公有財産処分について、無償、価格が低いとするプロポーザルの見直しについて伺う。 (7) 三豊市の空き施設・更地等、今後の公有財産処分の計画を伺う。
	2	7 西山彰人	1、市役所施設の耐震状況とその施設の利用者数について	市役所施設のうちまだ耐震工事が出来ていない施設とその利用者数、その対策と実施計画を伺う。
			2、三豊市の緊急時の医療体制について	三豊市では救急搬送時に、病院までの時間に大きな相違がある。市長は、救急車を依頼してから病院到着までの時間をどのように考えているのか伺う。
			3、永康病院の再建について	永康病院を建て替える場合に、できるかぎり安価で、使いやすい病院にすべきと思うが、検討中の再建計画はどのようになっているのか伺う。なんでも委託では、いい病院にはならないとの指摘があるが、どのように考えるか伺う。
			4、幼稚園教育について	職員から様々な問題が指摘されていると思うが、その対策を伺う。
			5、職員の待遇と研修について	メンタルヘルスに関する研修がどのようになっているのか伺う。また他の市町と比べて職員の待遇はどうなっているのか伺う。
			6、さぬき造船所跡地の利用について	市民の皆さんから、進捗状況に関する質問が多いので、現況について伺う。
	3	4 田中達也	1、事業承継支援施策について	事業承継税制が4月1日に改正され、今後5年以内に特例承継計画を提出し、10年以内に実際に承継を行うものを対象に、相続時の現金負担がゼロとなっている。また、従来は9割以上の中小企業が親族に事業を引き継いでいたが、現在では4割以下と言われている。これを受けて「第三者承継」に焦点が当たっているが、担い手不足が深刻化する三豊市において今後どのように支援していくかを問う。
			2、空き家バンクにおける「農地付き空き家」への対応について	今年3月、国土交通省が作成した「農地付き空き家」の手引きが公開された。地方部における空き家の利活用や移住促進等に向け、空き家と付随する農地を移住者等に提供する取り組みが自治体で広がりつつあることを踏まえ、取り組みのさらなる普及を目指してのことであるが、三豊市においても「空き家バンク」を運営しており、必要な取り組みであると考え。現状と今後の対応について問う。
			3、高齢者の運転免許証自主返納支援について	高齢化に伴い、高齢運転者の問題は加速度的に増加している。事故の増加に加え、低速・危険運転者が商用車の運行を阻害する例もあり、地域事業者の生産性の低下が懸念される。三豊市では「高齢者免許証自主返納支援事業」「高齢者福祉タクシー事業」などの対策を行っているが、代替交通手段、都市計画、意識改革など複合的に取り組まなければ解決は難しいと考える。今後の対応を問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/13 (水)	4	11 石井勢三	1、三豊市公共施設再配置計画について	<p>公共施設再配置計画は、今後三豊市の大きな課題の一つである。耐震化基準に達していない施設、目的終了施設、今後の方向性のガイドラインを含め構想を問う。</p> <p>また、三野地区の再配置についての考えを問う。</p> <p>(1) 三野支所、文化センターの取り壊しの計画があると思われるが、取り壊し後の土地活用と、図書館の移転、現在使用している文化会・同好会等の使用場所の考えは、どのような配置場所を考えているのか。</p> <p>(2) クリアプラザの今後の活用計画は。</p> <p>(3) 老朽化している公民館の今後の計画は。</p>
			2、三豊市内のWi-Fiの現状と今後の計画について	<p>今やWi-Fi整備は、社会の通信手段として必要不可欠な事業である。民間においても、益々整備が進んでいる中、我が三豊市でのWi-Fi整備の現状及び今後の計画を問う。</p>
	5	12 丸戸研二	1、第2次三豊市総合計画について	<p>(1) 向こう10年間の三豊市をどう見ているのか 10年先、20年先を見据えたまちづくり</p> <p>(2) 何を守りどう攻めるのか より魅力的な三豊市</p> <p>(3) 市長の政治姿勢をどう展開するのか</p>
			2、消防屯所機能の充実について	<p>(1) 消防団を取り巻く環境の変化と活動拠点の重要性</p> <p>(2) 屯所機能の充実・整備について</p>
			3、防災意識の更なる普及について	<p>(1) 自助意識の普及について</p> <p>(2) 共助意識の普及について</p>
			4、災害に強い里山機能について	<p>(1) 県、市河川の延長線上にある水路等の取り扱いについて</p> <p>(2) 里山(私有の農地、山林)の安全対策</p> <p>(3) 里山再生事業の必要性について</p>
	6	5 浜口恭行	1、地域と大学などとの連携について	<p>地域の起爆剤として大学などの若者、特に地域と大学との新しい役割が注目されている。社会の発展に寄与する大学などとの地域連携、産学官連携などの直接的な貢献として、大学や高専との「域学連携」をもっと推進するべきではないか、を聞く。</p> <p>また多くの市内企業の人材確保のため、地域インターンシップから就職採用にもつながるようなシステムづくりができないか、当局の対応を聞きたい。</p>
			2、都市公園の管理全般について	<p>市内の公園や、特に都市公園などの日常的な維持管理や、公園施設(遊具)の長寿命化のための基本方針を聞く。</p>

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/14 (木)	7	10 市川洋介	1、労働者不足における政府の外国人在留資格検討に伴う今後の三豊市の施策についてとAI活用の事業者を応援する施策について問う	(1)政府の検討について三豊市としての見解 (2)特区の活用について (3)厚生労働省における実習生の業種選定について (4)三豊市に外国人向けの日本語学校の創設について (5)AI活用の事業者について研修や講演や支援について
			2、三豊市における防災について、今後の展開について問う	(1)市民の防災組織について (2)自主防災組織の現状について (3)自助、共助、公助の連携について (4)市民参加の三豊市民全体での防災訓練の実施について
	8	3 湯口 新	1、隣接自治体との観光等における協力体制について	三豊市の観光を盛り上げるためにも、市単体ではなく近隣市町村との協力が不可欠だと考える。三豊市としての過去の近隣市町村との取り組みは。また、観光地への案内看板などでの協力体制は。
			2、議会答弁への対応・進捗状況の可視化について	本会議等における一般質問等の答弁に対するその後の対応・進捗状況を調査し、市民に分かりやすい形で公表することにより、行政の市民への説明責任を果たし、行政への市民の関心・及び監視度を高めることを目的とした「議会一般質問等答弁事項進捗状況調査」を実施し、公表するべきだと考えるがいかがか。
			3、民泊に対する三豊市としての取り組みについて	6月15日に住宅宿泊事業法、いわゆる民泊新法が施行される。民泊には全国的に違法民泊が横行するなど多くの課題や問題点があるが、同時に、うまく活用すると三豊市の課題である宿泊施設の少なさや空き家の再利用、またインバウンドや父母ヶ浜の集客力に対する営業力不足といった問題点の解消につながると考える。三豊市は民泊新法をチャンスととらえ、積極的にかかわるべきではないか。
			4、東京オリンピックに向けた取り組みについて	3月議会の市長答弁では「大会終了後の国際交流・事後交流について検討する」とのことであったが、検討結果は。復帰後、好成績をあげている桃田選手を応援し、にぎわいづくりとしても市として関わるべきだと考えるが、いかがか。
	9	15 瀧本文子	1、子育て世代包括支援センターの設置について	子育ての不安や悩みを抱える保護者が、安心して子育てできるよう、妊娠期から出産・子育て期の様々な相談に応じてくれる施設や仕組みづくりが進められている。三豊市は子育て支援事業に取り組んできている中、出来るだけ早い、子育て支援の包括的なセンターの確立が求められている。①実施にあたって課題や問題点について②設置時期について③庁内の他部署との連携について④市内産科との連携について、伺う。
			2、学校現場のLGBTの取り組みについて	LGBTなど「性的マイノリティ」の児童生徒に対して、教育現場でどう対応するのか、教師向けのパンフレット(文科省)が作られ、香川県でも取り組みが進んでいるようだ。具体的には、制服や体操着の着用について、また、多目的トイレの利用について、他の生徒・保護者への配慮の均衡などが挙げられている。三豊市の現状及び課題、また取り組みなどについて伺う。
			3、ハラスメント防止の取り組みについて	パワハラ、セクハラなどの被害があとを絶たない。三豊市の第3次男女共同参画プランの企業アンケートで、その対策について「相談・苦情に対処するための窓口の設置」「就業規則等で方針を明確にする」と回答している。ハラスメント防止について、市の取り組みを伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/14 (木)	10	1 近藤 武	1、公共施設の空き部屋利活用について	市内各支所の使用されていないフロアがたくさんある。支所は地域の中心にあり、人が集まりやすい立地条件である。公共施設をもっと有効利用して民間に貸し出すことや、若者ベンチャー育成に役立ててもらうのはどうか。
			2、公共施設の償却、売却について	公共施設の償却、売却が遅くなればなるほど資産価値が下がり、また市の負担も減らない。今後更なる速やかな償却、売却が求められる。市民の財産である公共施設を今後どのようなより良い周知活動で償却、売却するのか。また、償却・売却後の市民の納得する情報の公開をどうするのか。
			3、公共建物デザインについて	公共建物の見栄えも大事であるが、デザインを優先するあまり、使い勝手が悪くなったり、事業費が高くなったりしていないか。今後の三豊市の対応は。
	11	14 金子辰男	1、身元保証人のいない高齢者について	高齢者が介護施設に入所する際、身元保証人がいない場合は受け入れを拒否する施設があると報道されていた。単身者や身寄りのない人らが保証人を用意できないケースが増える中、施設側は費用の支払いや死亡時の引き取りなどへの不安が根強いのが実情である。市内の現状と対策を聞く。
			2、国内外の友好都市について	三豊市国内外の友好都市の具体的な関連事業と、予算額は。また、これまでの友好都市交流でどのような内容でどのような成果、効果があったのか。また、これからの交流について聞く。
			3、高齢者の交通事故対策について	高齢者の大きな事故が連日報道されている。高齢者の交通事故対策および高齢者の運転免許証の自主返納者の支援策、高齢者の外出支援事業、公共交通路線の新設などの考えはあるのか聞く。
4、宝山湖周辺の整備について			渇水対策や大地震などの不測の事態に対処するため、山本町と財田町にわたり平成21年3月に完成した宝山湖。宝山湖公園芝生広場、財田里山ビオトープなど利用頻度が上がっている。更に有効活用できるような整備を伺う。	
6/15 (金)	12	2 高木 修	1、高瀬駅に、全特急列車を停車させることについて	(1)JR四国様との強力な交渉で、中核駅たる高瀬駅に、全特急列車を停車させることの可否を問う。 (2)駅の利便性向上で、利用客数の格段の向上が見込まれる。それに伴い、駅舎設備が充実され、ひいては駅前・駅裏再開発も期待される。その展望を問う。 (3)駅が、長距離バスの拠点ともなり、地域交通網の中心となることへの展望を問う。
			2、市内「へき地」に買物カーを走らせることについて	(1)現在、一部の地域で食料品等のデリバリーが実行されている。 (2)実施エリアを市内全域に拡大するとともに、取扱い商品も充実させ、「買い物難民」を解消することへの展望を問う。 (3)独居老人対策の一つにもなる。
			3、「タクシー呼び出しポスト」の設置について	山間部等でもタクシーを呼び出し易くするため、市内で系統的にナンバリングされた呼び出しポストを、目印として設置する。設置の可否を問う。
			4、「独居老人見回り隊」の組織化について	(1)現在、一部地域で自主的に取り組まれている、「独居老人見回り隊」活動を全市レベルの活動に拡大することの可否を問う。 (2)ボランティア活動の一環として取り組む。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/15 (金)	13	8 水本真奈美	1、防災・減災対策について	(1) 災害時要援護者支援について (2) 災害時の行動を見える化するタイムラインと地域の連携 (3) 避難所運営リーダー養成 (4) オストメイト専用トイレと装具の備蓄 (5) 女性の視点を活かした防災ブックで防災啓発・備蓄推進の考えを伺う。
			2、インフルエンザ予防接種について	子育て世代の負担軽減や感染予防のためインフルエンザ予防ワクチン補助の考えを伺う。
	14	9 込山文吉	1、地方創生交付金の活用について	(1) 三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状を聞く。 (2) 平成28年から始まった地方創生推進交付金の昨年度までの活用状況を聞く。 (3) 平成30年度の交付対象事業への応募件数、金額と採択された件数、金額を聞く。 (4) 6月中旬に第2回応募申請の受付がある。予定事業件数、金額を聞く。
			2、スポーツ振興について	(1) 市内スポーツ少年団の団体数と組織の状況を聞く。 (2) スポーツ少年団と中学校クラブの連携はとれているのか。中学校で自分の希望のクラブがあり、希望どおりに進んでいるのか。状況を聞く。 (3) 好きなスポーツ、才能ある子どもたちの芽を摘むようなことがあってはならない。環境づくりが大切であるとする。市長の考えを聞く。
			3、改正バリアフリー法の対応について	バリアフリー法が12年ぶりに改正され、「マスタープラン」の策定を市に求められている。 (1) 本市のバリアフリー化の状況をどう認識されているのかを聞く。 (2) マスタープランの策定を求められている。今までの本市、街づくりにおけるガイドラインを聞く。 (3) 今後、移動の連続性や重点地域の設定を求められる。今後の方針を聞く。
	15	17 岩田秀樹	1、三豊市から事業所に送付する住民税の「特別徴収税額通知書」へのマイナンバーの記載について	総務省の通知に合わせて、県内自治体でも進んでマイナンバーを記載してきた。地方自治体から事業所に送付する住民税の「特別徴収税額通知書」へのマイナンバーの記載は情報漏えいの問題があると言ってきた。昨年記載が強制化された中、誤配送、漏洩が明らかになった。総務省「当分の間、記載しないこととした」と昨年の方針を変更している。市の対応はどうか。
			2、「住宅リフォーム助成制度」の実施について	昨年の予算は2,000万円、議会事務事業評価は「拡充」であった。これまでの実績は、4年間で利用者1,036名、施工業者191社、補助交付1億8,060万円、工事費16億4,022万円となっている。補正での実施による、周知の遅れにどう対応するのか。
			3、給食センターの北部地域は給食センターを建設せず現行施設で進行すればどうか	南部給食センター稼働後、運営予算は南部給食センターとそれ以外の施設の合計がほぼ同額となっている。現行修繕施設、改築施設を含めても新築のセンター建築費を下回るのではないかと考える。市の見解を問う。
			4、市広報5月号に掲載されていた「提案型補助金」と「産休・育休取得促進支援補助金」について	新生児数など全体像を把握して取り組んでいるのか。育児休業取得者は何人か。「育児休業制度」との関連をどのように考えているのか。
			5、「部落差別解消推進法」の付帯決議について	「部落差別解消推進法」の付帯決議にある、実態調査にあたって国は内容、手法について十分検討するとあるが、どのように考えているのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成30年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/15 (金)	16	6 三木秀樹	1、自治体の首長としての現憲法観を聞く	憲法99条を出すまでもなく、最高法規である憲法を尊重し、擁護する義務を負っている市長であるが、市長自身が憲法改正を早期に行うよう「要望」した時期がある。「安倍政権」と同様の見解であるのかどうか。違うのであれば、憲法の「何を」改正しようとしているのか。市長として、前市長の様に「堂々と見解を」披歴してほしい。
			2、補正予算の基準等に関して	今議会の補正総額15億強は、市債と財調の切り崩しで93%賄う予算であるが、その算定「事業」基準は、「必要性と有効性」から選出している。三月議会で「実行する」と返答のあった教育機関の児童の環境整備は、法律等に明記された「必要性の高い」事業であるにもかかわらず、没となった。補正を『裁定』した市長の法より重要な「基準」の見解を聞く。
			3、非正規職員の処遇改善状況を聞く	市で働く非正規職員の努力無くして、市の行政サービスは維持できない。努力に報いる処遇改善が進んでいると思うが、どの程度改善されたのか。正規職員と同一労働の臨時職員は正規の43%の低賃金で働いている。政府の言う60%まで改善すべきではないか。
			4、施政方針にある「積極的施策」「検討し取り組む」「見直し、育成」の実情を聞く	施政方針では多数の「積極的施策、政策の推進」、7項目の検討課題、見直しすることで前進(育成)と「言葉(文言)だけではないか」と懐疑的に思える点を聞く。3点。「人口流入を積極的に促す施策」とは？空き家対策に関して自治会等と連携による見守り体制を「検討し取り組む」その政策と進捗は？支所体制の見直しは「育成に」なっているのか？